

## パブリックコメント実施結果

件名 市立三次中央病院建替基本構想（案）に寄せられたご意見

担当課 病院企画課

意見の募集期間 令和4年8月18日(木)から令和4年9月6日(火)まで

意見提出者数 11人

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方(案)
1	特に有りません	
2	通院に不便を感じている。車の使用出来ない時等、通院が非常に不便で気軽に病院に来られない。市内では常にバスが通り利用者は山間部の人に比べて、恵まれているが、私達のように足のない者は病院の利用も大変です。山間部の者の利用し易い環境を考えてほしい。	地域公共交通の市担当部署の地域振興部にご意見を伝えておきます。
3	<p>基本構想はよく分析されまとめられています。建替を目的としたとりまとめとなっている印象です。</p> <p>私は建替えに反対するものです。理由は以下のとおりです。</p> <p>1. 耐用年数が10年残有しており建替えの時期ではない。</p> <p>2. 三次市の財政状況は県内市の中で最悪の状況にある中、(経常収支比率98%、毎年度数億円単位で財調基金取崩し)建替えに当っては、巨額の一般会計からの繰り入れが必要。財政崩壊となる。</p>	<p>ご指摘のとおり、令和4年時点で、耐用年数を10年残有しております。しかし、既設配管などの設備は耐用年数を経過していることや、職員の増加や電子カルテなどの設備の変更に伴って施設の狭隘化が進み、業務に支障をきたしています。</p> <p>劣化診断報告書の総合所見にもありますように、病院全体の改修が完了するまでの工事の長期化については、診療機能上また病院運営上にも大きな問題となり、劣化対策とスペース不足・院内環境の問題を同時に解決する手段を模索した結果、病院を建替える方針に決定しました。</p> <p>本構想(案)P81にまとめていますが、病院の経常利益は過去5年間、全ての年度で黒字となっており、経常収支比率も100%を超えて推移しています。</p> <p>また、他会計繰入金対医業収益比率も、全ての年度で5%以下となっており、ほぼ病院事業会計の収支で運営しています。</p> <p>建替の経費についても、一般会計から繰り入れ</p>

	<p>3. 今後人口が大幅に減少する中、過大な投資。重たく患者や、高度医療は広島市へ依存すべきであり、県全体の医療資源の機能分担が必要。また、コロナ等の対応では、市内の個人診療所との連携強化が必要。</p>	<p>て支出することは考えていません。</p> <p>本構想（案）P105「(2) 救急医療機能」にあるように、現在においても、当院で対応できない高度・専門的な3次救急医療は、大学病院等の高度急性期医療機関と連携を取っており、今後も連携を図っていくとしています。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症などの新興感染症へ対応についても、地域医療支援病院として、近隣の医療機関との連携を密にしており、建替えに際しては、本構想（案）P107「(9) 感染症対策機能」にあるように、構造的に感染対策に迅速に転換できるものとしています。</p>
4	<p>私は 2020 年よりパーキンソン病を発症して 2021 年から投薬を始めました。</p> <p>初め指が勝手に動くこと※（※不随意運動、パーキンソン特有な症状）に気づき、かかりつけ医に自分からパーキンソンではないだろうかと相談しました。市内の脳内科で MRI を受けましたがよくわからないから中央病院で DaT スキャン検査を勧められ、その結果を持ち広島市立病院の脳内科で受診しました。現在 1 カ月に 1 度通院しておりますが、不安になる毎日です。田舎では選択肢がどうしても限られます。この度の中央病院が新設されるにあたり、これから増加傾向にあるパーキンソン病患者の為に脳神経内科の新設を希望します。情報社会の現在新しい治療が地域に関係なく誰でも受けられる世の中であって欲しいと願うばかりです。</p>	<p>病院建替にあたり、診療体制の検討は必要となっているところですが、新たな診療科を開設するためには、継続的な専門医師の確保が必要となります。当院では、これまで広島大学医局や広島県等との連携により、医師を確保し、診療科も追加してきたところです。引き続き、地域の中核病院として、地域に必要な診療科については、広島大学医局や広島県等と開設に向けて協議し、地域の皆様に必要な医療を提供できるよう、診療体制の充実を図っていきます。</p>
5	<p>私は、畠敷町に住む 62 歳の主婦でパーキンソン病になって 15 年目になります。</p> <p>48 歳頃から身体に異変を感じ始め、49 歳で「パーキンソン病」だとわかり 50 歳で仕事を退職しました。現在、広島市内の脳神経内科クリニックで投薬・治療しています。</p> <p>脳神経の難病と言われるパーキンソン病です</p>	<p>病院建替にあたり、診療体制の検討は必要となっているところですが、新たな診療科を開設するためには、継続的な専門医師の確保が必要となります。当院では、これまで広島大学医局や広島県等との連携により、医師を確保し、診療科も追加してきたところです。引き続き、地域の中核病院として、地域に必要な診療科については、広</p>

	<p>が、幸いにも、まだ自力で生活できています。病歴 10 年を超えると、いつ身体が動かなくなるかわからないということで、不安と闘いながら日々を過ごしています。</p> <p>病気がわかるまで一年以上かかったのは、右半身の固縮が、まさか脳神経からきているものと思わず、整形外科や、更年期障害かと産婦人科や甲状腺関係、接骨院など 6～7 の病院を転々となりました。レントゲンを撮っても異常が無いと医師から言われ、「では何故、身体が動かないのでしょうか？」と聞くと「知りませんよ！」と怒られ、泣きながら帰ったこともあります。しかし、もう脳神経しかない、専門医に行くと、初めて診察室に入った途端「パーキンソン病を疑って来られたのですね。間違い無いですね。」と言われ、ビックリ！？ずいぶん遠回りしたけど、専門医とはこういう事かと実感した経験でした。</p> <p>もしも、中央病院に脳神経内科があれば、他の科との連携もできるだろうし、あちこち行かなくてももっと早く病名がわかったと思います。三次で一番 核となる病院に「脳神経内科」が無いのは あまりにも悲しいです。患者は増え続け、今後も増え続ける病気だとも言われています。</p> <p>「脳神経内科」の新設を強く要望します。</p>	<p>島大学医局や広島県等と開設に向けて協議し、地域の皆様に必要な医療を提供できるよう、診療体制の充実を図っていきます。</p>
6	<p>私はパーキンソン病治療のため広島市内の脳神経内科に通院している 65 歳の女性です。今から 12 年前頃より症状が出始め（臭覚低下、筋固縮、振戦、つまずき）三次市内の病院を受診しましたがどこでも原因がわからず、悪化していき、右上下肢の動作が大変難しくなりました。広島市内の病院 2 院目でパーキンソン病と診断をうけ投薬治療にて症状は軽減していきました。病名がわかり 10 年になります。現在は右側屈姿勢、ジスキネジアなどの症状も出現し、進行を感じています。広島市内の病院へいつまで通院できるのかと思うととても不安です。パーキンソン病</p>	<p>病院建替にあたり、診療体制の検討は必要となっているところですが、新たな診療科を開設するためには、継続的な専門医師の確保が必要となります。当院では、これまで広島大学医局や広島県等との連携により、医師を確保し、診療科も追加してきたところです。引き続き、地域の中核病院として、地域に必要な診療科については、広島大学医局や広島県等と開設に向けて協議し、地域の皆様に必要な医療を提供できるよう、診療体制の充実を図っていきます。</p>

	<p>は現在 60 歳以上の高齢者に多く発症がみられ、最近ではさらに患者数は増加しているとききます。高齢者率の高い三次にも多くの患者がおられ、多くの方が広島市内の受診しているとききます。パーキンソン病は一人ひとり症状も違い治療も違う完治しない病気です。そして、高齢になるほど広島への通院は厳しくなるでしょう。この度の中央病院建替えの基本構想に、脳神経内科受診が必要な患者が地元三次でも様々な治療、リハビリが適切に受けられるよう脳神経内科の新設を要望します。</p>	
7	<p>病人や幼児等の車への乗降場所の改善をお願いします。</p> <p>現在、バス停前の屋根も無い所で病人を乗降させ正面玄関前まで車椅子を取りに行かれ、又車の移動を遠い駐車場まで持参し、路肩の段差もあり大変危険なので何度かお手伝いをしました。入口に近い段差の無い屋根付きの専用乗降場所とその場所へ車椅子を常備する事。</p> <p>子供(児童)の医療、診察は紹介状無しでも、診療が受けられ初診料は不要にしてください。昨年、小学生が三次中病に体調が悪く車椅子で行き、紹介状や初診料等々言われ、結局、診療が受けられませんでした。少子化対策として無料。みよしこども診療所の早期開所を実現して下さい。</p> <p>若い人達もコロナ禍で生活が大変です。安心して働けるように改善してください。</p> <p>基本構想(案)は閲覧していません。</p> <p>建物の回りに植樹しない事。害虫発生、落葉・維持管理に経費が必要。現在、中央病院の通り美術館通りに樹が植えて有りますが大木となり、落葉維持管理、見通しが大変になっています。都会で緑が無い場所と違い、緑は豊です。維持管理の</p>	<p>今後の基本計画や、それ以降議論の中で検討を深めさせていただきます。</p> <p>病院と診療所の機能分担の推進を図る観点から、200床以上の病院の初診については、他の保険医療機関からの紹介なしで受診される場合、徴収が義務付けられていおり、当院では、税込み5,500円をご負担していただいています。</p> <p>また、みよしこども診療所は令和5年5月に開所予定です。</p> <p>病院敷地内の植樹は、現在地に立地造成する際の条件として、敷地内に一定の緑化率が求められている関係で、植樹や芝の造成が必要となるため、次期病院でも一定の規模及び費用が必要となると思いますのでご理解ください。</p>

	<p>シルバー人材・剪定等々に経費が必要なので。</p>	<p>なお、道路と歩道との間の植樹帯は、病院管理のものではありません。</p>
<p>8</p>	<p>お世話になります。市立三次中央病院建替基本構想検討委員会の委員の皆さま、ご審議有難うございました。</p> <p>大規模修繕の必要な個所がこれから多く出てくることを考えると、総合的な判断として今このタイミングで、病院本体の南側に新病院を新築する。広島大学からの派遣医を維持増員できるように施設設備の更新を計り、広島県北の医療水準を良く保とうとする意欲を感じます。令和12年の将来の人口減少を見込んで入院患者数を175人と予測しています。</p> <p>必要病床数の計算式として（稼働率75%）  <math>(175 \text{ 床} \div 75\%) + \text{救急告示病床} 12 \text{ 床} + \text{緩和ケア病棟} 20 \text{ 床} + \text{増加する高度急性期機能} 39 \text{ 床}</math>      =約305床と計算されています。病床の維持には令和3年6月の職員数で常勤正規医師75名の約4倍弱270名が務める看護師の確保が一番大切と思います。</p> <p>現在コロナ禍のために入院制限等があり入院患者数が200名強と聞いております。夜勤の看護師が少ないため今でも夜勤体制を組むのが大変そうです。新規採用を20名しても、同じ数の看護師が辞めているそうです。人口減少は看護師の新規採用者にも及びます。様々な看護師確保策を巡らせていただいています。看護師の減少は続きそうです。</p> <p>若手医師の研修教育は、以前から丁寧に行われています。</p> <p>では、看護師にはきめ細かい臨床看護研修教育がなされていますでしょうか。新人看護師は多彩な患者さんを目の前にして戸惑うことが多いものと思われます。3交代制のために決まった一人の先輩指導看護師に毎日ついて学び実践することが難しいのでしょうか？</p> <p>看護師の定着率を高める第一歩は、看護師を一</p>	<p>看護師をはじめとした、医療従事者の人材確保は、労務環境改善などを進め、今後も継続して努めていきます。</p> <p>その他のご意見について、ご参考にさせていただきます。</p>

	<p>人前に育て同じ職場で働き続けることが苦にならない環境整備では！手当以外に、更衣室や広い休憩室、意思疎通しやすいスタッフステーション、遠くなりそうな駐車場までの距離の短縮。看護師にも他の県内や全国から看護レベルのスキルを高めるために、中央病院に研修に参加しようと思わせる看護師研修プログラムは、ございますか。県北内だけで看護師を集めようとしてもますます困難。看護学校卒業生で県北以外の出身者に勤務してもらう秘策はございますか？</p> <p>看護師にゆとりが持てる環境によってゆとりのある病院が生まれると思います。疲れ切った人でなく、心と体そして考え方に活力とゆとりを持つ看護師に看護をしてほしいと思います。</p> <p>看護師のみならず病院内からいろいろな立場の様々な意見をくみ上げ働きやすくゆとりのある病院にして下さい。多様性の調和を大切に。</p> <p>追伸 4人部屋には、トイレがつかないのでしょうか？感染症対策のためには、各部屋ごとについていた方が良いので付いている病院もあります。</p>	
9	<p>(1996年)50歳の時、難病のパーキンソン病と診断されました。難病！背筋がゾットしました。それまではパーキンソン病とわからぬまま市内の病院にも行きました。三次中央病院には、現在脳神経外科はありますが脳神経内科はありませんので大変困りました。その内に家族の勧めで広島市内の病院に治療を受けに行く事に成り現在も通院して居ります。その為には長時間かけて乗物で通わなければいけません。自分の身体が自由に動いて何事も自分だけで出来る状態ならば通う事も可能ですが、いずれ自分だけの行動が困難に成ります。遠くの病院には通えなくなる！そんな時支えていただける地元の大切な中央病院に「脳神経内科」の新設を強く強く要望します。</p> <p>今現在三次にはパーキンソン病の治療を受けて</p>	<p>病院建替にあたり、診療体制の検討は必要となっているところですが、新たな診療科を開設するためには、継続的な専門医師の確保が必要となります。当院では、これまで広島大学医局や広島県等との連携により、医師を確保し、診療科も追加してきたところです。引き続き、地域の中核病院として、地域に必要な診療科については、広島大学医局や広島県等と開設に向けて協議し、地域の皆様に必要な医療を提供できるよう、診療体制の充実を図っていきます。</p>

	<p>おられる方が沢山いらっしゃいます。今後、まだまだ増えていけらう「脳疾患」その方達の為にも早期発見し確定診断をしてもらう事が一番の望みです。新しい治療方法をめざして市民の為の「脳神経内科の新設を」よろしくよろしくお願いします。</p>	
10	<p>旧双三中央病院に2カ月入院したことがあり、お化け屋敷のように恐ろしく病院のイメージが悪かった。看護学生の実習生が温かくケアして頂いたおかげで心が明るくなった。だからハード面も大切ですが、医療スタッフが安心して患者に接することで患者が安心できる。医療スタッフの仕事での不安、悩み、意見を積極的に聞き、モチベーションを高め、離職率を抑え、そのことが医療技術の向上、質の向上、医療サービスが向上する。病院を建替しても医療スタッフにそぐわないと意味がないし、税金の無駄使いになる。建替には現場のスタッフの意見を積極的に聞き、他の病院の連携も重要なのでいろんな人の意見も必要です。</p> <p>市民に関心を持ってもらうために若い世代の意見が大切。三次高校、青陵高校、日影館高校、市内の中学校、三次看護学校に出向き学生の意見、又は授業で建替や医療についてみんなで学び未来へつなげる工夫も必要。</p> <p>高度医療の他に終末医療にも力を入れ、三次で住んで良かった、人間らしく最期を迎えられ、三次市民が命と向き合える病院を目指して頂きたい。</p> <p>医療スタッフの向上を目指すため、日本各地の病院、海外の病院などに研修に行き、また日本や世界各地から三次中央病院に研修に来て頂き、お互いが積極的に交流し、活気が生れ世界一の病院にして頂きたい。きりりホールなどで医療セミナー・シンポジウムを開き、いろんな場所へ発信する。</p> <p>今の中央病院は開放的なスペース、心の落ち着</p>	<p>看護師をはじめとした、医療従事者の人材確保は、労務環境改善などを進め、今後も継続して努めていきます。</p> <p>その他のご意見について、参考にさせていただきます。</p>

	<p>く場所が見当らない。ロビーにピアノがあるが、娯楽的なスペースや病院の外に公園や庭を造り、花や木を植え患者、家族などが散歩や日向ぼっこや気晴らしのできるスペースがあれば良い。</p> <p>病院の運営には三次市、医療スタッフや医療関係者ばかりでは限界なのでボランティアの方をもっと受け入れを拡大する。病院運営のためにはいろんな職種やいろんな人達が参加し中央病院を支えていく中央病院運営チームを結成したらどうでしょうか。</p> <p>そこでいろんな意見、議論をし、お互いの知恵を聞き、支え合い、助け合う。</p> <p>いろんな人達だから、食い違いも生じるだろう。いろんな人達だから医療に対する気持ちが高まり、たくさんの人達へ医療に対する思いが伝わる。新しい発見もあり、活気が出てきたりする。私は将来明るい兆しが出てくると信じております。</p>	
11	<p>発達障害のある子どものことの相談先が三次市は不十分。他の市町では、充実したところもある。三次市も充実させて欲しい。</p>	<p>市担当部署である福祉保健部社会福祉課にご要望をお伝えします。</p>